

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和2年度病虫害発生予察速報第3号について

このことについて、病虫害発生予察速報第3号（イネ縞葉枯病）を発表したので送付します。
ヒメトビウンカ越冬虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、近年低下傾向にあります。今後のヒメトビウンカの発生量によっては、発病が多くなる可能性がありますので、適切な防除指導をお願いします。

速報 第3号

- 1 対象作物：水稲
- 2 病虫害名：縞葉枯病
- 3 発生地域：県下全域
- 4 速報の根拠

2020年5月に県内14地点の小麦ほ場でヒメトビウンカの第1世代幼虫を採集し、イネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率を簡易エライザ法で検定した。その結果、保毒虫率は平均0.2%と前年同様に低い水準であった（図、表）。

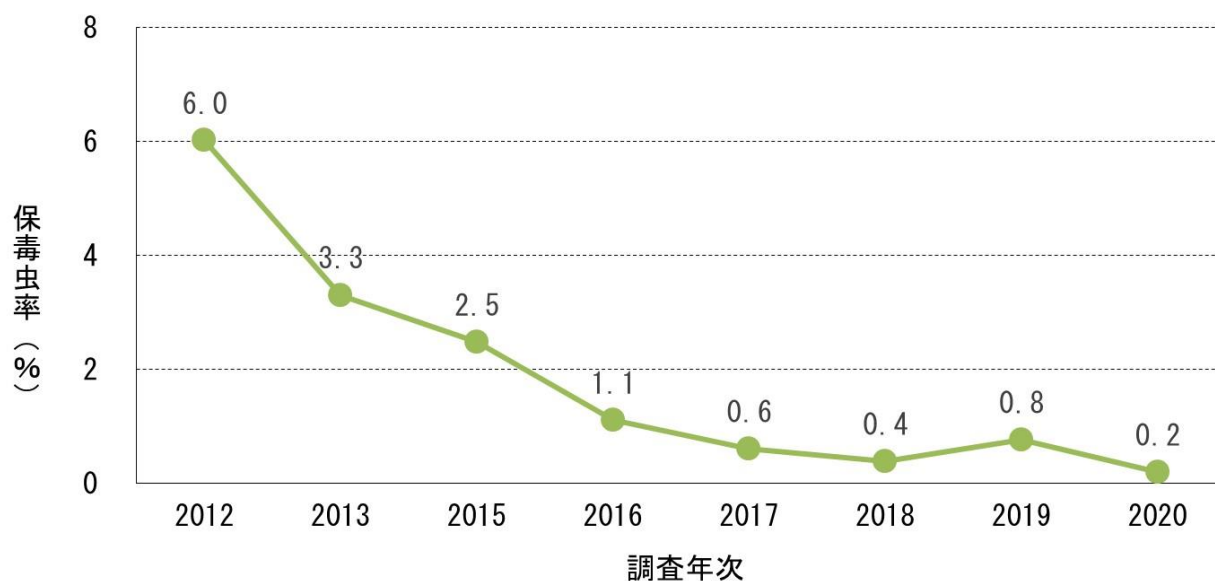


図 ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率の推移
(第1世代幼虫：小麦ほ場採集)

注) 2014年は欠測のためデータなし

表 検定地点別のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率

検定地点	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)		
			2020年	2019年	2018年
筑紫野市山家	188	0	0	2.1	1.1
宗像市朝町	156	0	0	0	1.1
糸島市二丈松末	71	0	0	1.1	0
久留米市宮ノ陣町	188	0	0	0	0
小郡市力武	94	1	1.1	1.1	0
うきは市浮羽町山北	188	0	0	0	0
朝倉市馬田	188	2	1.1	3.2	0
筑前町栗田	188	0	0	0	1.1
嘉麻市中益	188	1	0.5	0	0
糸田町嵐ヶ池	127	0	0	1.1	0
柳川市大浜町	188	0	0	0	0
筑後市若菜	90	0	0	0	0
大川市北古賀	188	0	0	1.1	1.1
築上町椎田	31	0	0	1.1	1.1
平均保毒虫率 (%)			0.2	0.8	0.4

5 防除上注意すべき事項

5月下旬～6月上旬移植のほ場では、今後のヒメトビウンカの発生に注意し、発生が多い場合や前年度縞葉枯病が多発した地域では、本田での薬剤防除を実施する。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jpnpn.ne.jp/fukuoka/>

